

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 明 治 大 学

(2) 大学名

明 治 大 学 大 学 院

(3) 大学の位置

〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナガホリ モリヒロ) 長 堀 守 弘 (平成20年4月1日)		
学 長	(ナヤ ヒロミ) 納 谷 廣 美 (平成16年4月1日)		
大学院長	(ヨシムラ タケヒコ) 吉 村 武 彦 (平成20年4月1日)		
研究科長	(ゴウダ マサト) 合 田 正 人 (平成22年4月1日)		

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称 (学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
文学研究科 文芸メディア専攻 (修士課程) 修士 (文学)	2 年	6 人	12 人	基礎となる学部等 文学部文学科

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 6 (-) [-]	人 (-) [-]	0.5 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	8 (0) [3]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	7 (-) [3]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	3 (-) [1]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	3 (-) [1]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					0.5			

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[]	/	[1]	[-]	3	-	
2年次	/	/	[]	[]	[-]	[-]	-	-	
3年次	/	/	/	/	/	/	/	/	
計	[]	[]	[]	[]	[1]	[]	3		

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	(主な退学理由)		

2 授業科目の概要

<文学研究科 文芸メディア専攻（修士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主要科目	文芸メディア演習ⅠA（上代中古日本文学・思想）	1前	2			1						
	文芸メディア演習ⅠB（上代中古日本文学・思想）	1後	2			1						
	文芸メディア演習ⅠC（上代中古日本文学・思想）	2前	2			1						
	文芸メディア演習ⅠD（上代中古日本文学・思想）	2後	2			1						
	文芸メディア演習ⅡA（中世近世日本文学・思想）	1前	2			1						
	文芸メディア演習ⅡB（中世近世日本文学・思想）	1後	2			1						
	文芸メディア演習ⅡC（中世近世日本文学・思想）	2前	2			1						
	文芸メディア演習ⅡD（中世近世日本文学・思想）	2後	2			1						
	文芸メディア演習ⅢA（近代現代日本文学・思想）	1前	2			1						
	文芸メディア演習ⅢB（近代現代日本文学・思想）	1後	2			1						
	文芸メディア演習ⅢC（近代現代日本文学・思想）	2前	2			1						
	文芸メディア演習ⅢD（近代現代日本文学・思想）	2後	2			1						
	文芸メディア演習ⅣA（メディア文化・思想）	1前	2			1						
	文芸メディア演習ⅣB（メディア文化・思想）	1後	2			1						
	文芸メディア演習ⅣC（メディア文化・思想）	2前	2			1						
	文芸メディア演習ⅣD（メディア文化・思想）	2後	2			1						
	文芸メディア演習ⅤA（出版文化・思想）	1前	2						1			
	文芸メディア演習ⅤB（出版文化・思想）	1後	2						1			
	文芸メディア演習ⅤC（出版文化・思想）	2前	2						1			
	文芸メディア演習ⅤD（出版文化・思想）	2後	2						1			
	文芸メディア演習ⅥA（近代現代日本文学・思想）	1前	2						1			
	文芸メディア演習ⅥB（近代現代日本文学・思想）	1後	2						1			
	文芸メディア演習ⅥC（近代現代日本文学・思想）	2前	2						1			
	文芸メディア演習ⅥD（近代現代日本文学・思想）	2後	2						1			

特 修 科 目	文芸メディア特論ⅠA (上代中古日本文学・思想)	1・2前	2	1					
	文芸メディア特論ⅠB (上代中古日本文学・思想)	1・2後	2	1					
	文芸メディア特論ⅡA (中世近世日本文学・思想)	1・2前	2	1					
	文芸メディア特論ⅡB (中世近世日本文学・思想)	1・2後	2	1					
	文芸メディア特論ⅢA (近代現代日本文学・思想)	1・2前	2	1					
	文芸メディア特論ⅢB (近代現代日本文学・思想)	1・2後	2	1					
	文芸メディア特論ⅣA (メディア文化・思想)	1・2前	2	1					
	文芸メディア特論ⅣB (メディア文化・思想)	1・2後	2	1					
	文芸メディア特論ⅤA (出版文化・思想)	1・2前	2			1			
	文芸メディア特論ⅤB (出版文化・思想)	1・2後	2			1			
	日本文芸史特論A	1・2前	2	1					
	日本文芸史特論B	1・2後	2	1					
	表象文化特論A	1・2前	2						
	表象文化特論B	1・2後	2						
表現創作特論A	1・2前	2			1				
表現創作特論B	1・2後	2			1				
特 定 科 目	文芸メディア特別指定講義Ⅰ	未開講 1→2前	2						履修希望者がいなかったため (23)
	文芸メディア特別指定講義Ⅱ	未開講 1→2後	2						履修希望者がいなかったため (23)
共 通 特 修 科 目	総合文学研究ⅠA	未開講 1→2前	2						履修者登録が見込まれないため、科目未開講 (23)
	総合文学研究ⅠB	1・2後	2						
	総合文学研究ⅡA	1・2前	2						
	総合文学研究ⅡB	1・2後	2						
	総合文学研究ⅢA	未開講 1→2前	2						履修者登録が見込まれないため、科目未開講 (23)
	総合文学研究ⅢB	1・2後	2						
	総合文学研究ⅣA	未開講 1→2前	2						履修者登録が見込まれないため、科目未開講 (23)
	総合文学研究ⅣB	未開講 1→2後	2						履修者登録が見込まれないため、科目未開講 (23)
	総合文学研究ⅤA	1・2前	2	1					

共通 特 修 科 目	総合文学研究ⅤB	1・2後	2	1						
	総合史学研究ⅠA	1・2前	2							
	総合史学研究ⅠB	1・2後	2							
	総合史学研究ⅡA	1・2前	2							
	総合史学研究ⅡB	1・2後 未開講	2							履修者登録が見込まれないため、科目未開講(23)
	総合史学研究ⅢA	1・2前 1→2前	2							
	総合史学研究ⅢB	1・2後	2							
	総合史学研究ⅣA	1・2前 未開講	2							履修者登録が見込まれないため、科目未開講(23)
	総合史学研究ⅣB	1・2後 1→2後 未開講	2							履修者登録が見込まれないため、科目未開講(23)
	総合史学研究ⅤA	1・2前 1→2前	2							履修者登録が見込まれないため、科目未開講(23)
	総合史学研究ⅤB	1・2後	2							
	総合地域研究ⅠA	1・2後	2							
	総合地域研究ⅠB	1・2前	2							
	総合地域研究ⅡA	1・2後	2							
	総合地域研究ⅡB	1・2前	2							
	総合地域研究ⅡC	1・2後	2							
研 究 科 間 共 通 科 目	学術英語コミュニケーション	1・2前後	2							
	英文学術論文研究方法論	1・2前後	2							
	国際系総合研究A	1・2後	2							
	国際系総合研究B	1・2前後	2							
	国際系総合研究C	1・2前後	2							
	国際系総合研究D	1・2前後	2							
	学際系総合研究A	1・2前	2							
	学際系総合研究B	1・2前後	2							
	学際系総合研究C	1・2前	2							
	学際系総合研究D	1・2後	2							

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 24	科目 53	科目 0	科目 77	科目 24	科目 53	科目 0	科目 77	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	総合文学研究ⅠA	2	1	一般	選択	履修者登録が見込まれないため、科目未開講
2	総合文学研究ⅢA	2	1	一般	選択	履修者登録が見込まれないため、科目未開講
3	総合文学研究ⅣA	2	1	一般	選択	履修者登録が見込まれないため、科目未開講
4	総合文学研究ⅣB	2	1	一般	選択	履修者登録が見込まれないため、科目未開講
5	総合史学研究ⅢA	2	1	一般	選択	履修者登録が見込まれないため、科目未開講
6	総合史学研究ⅣB	2	1	一般	選択	履修者登録が見込まれないため、科目未開講
7	総合史学研究ⅤA	2	1	一般	選択	履修者登録が見込まれないため、科目未開講

(4) 廃止科目

番号		単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目について、配当年次が複数学年に亘っているため、在学中に履修の機会が確保され学生への不利益はないと考えている。在籍学生へは新入生ガイダンス時に周知をした。(23)

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{7}{75} = 0.09$$

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他には農場, 寄宿 舎, 借用地, 附属学校 施設を含む。			
	校 舎 敷 地	238, 187㎡	0㎡	0㎡	238, 187㎡				
	運 動 場 用 地	368, 691㎡	0㎡	0㎡	368, 691㎡				
	小 計	606, 878㎡	0㎡	0㎡	606, 878㎡				
	そ の 他	493, 842㎡	0㎡	0㎡	493, 842㎡				
	合 計	1, 100, 720㎡	0㎡	0㎡	1, 100, 720㎡				
(2) 校 舎	専 用	258, 511㎡	0㎡	0㎡	258, 511㎡				
	(258, 511㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(258, 511㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 補助職員にTAを 含む 教室：用途変更による 修正(23) 職員：配置変更による 修正(23)			
	249室 241室	164室 158室	385室 381室	29室 158人 (補助職員 160 人)	23室 (補助職員 18人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	文学研究科文芸メディア専攻			6 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学共有分図書数 2, 422, 555 学術雑誌数 30, 595 [7, 956] 電子ジャーナル数 44 [39] 視聴覚資料は大学全体	
	文学研究科 文芸メディア専 攻	24, 640 [479] (24, 040 [449])	7 [0] (7 [0])	4 [4] (4 [4])	39, 678 (39, 257)	0 (0)	0 (0)		
	計	24, 640 [479] (24, 040 [449])	7 [0] (7 [0])	4 [4] (4 [4])	39, 678 (39, 257)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		保存書庫を含む		
	23, 914㎡		3077席		2, 429, 361				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					体育館には駿河台ス ポーツホールを含む	
	12, 450㎡		バレーコート, テニスコート, ゴルフ練習場, プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	2, 296千円	2, 346千円	図書購入費	179千円	204千円	298千円	
	共 同 研 究 費 等	66, 803千円	68, 273千円	設備購入費	— 千円	407千円	630千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		820千円	540千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			補助金, 資産運用の果実及び寄附金その他の収入をもって維持運営する。						

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

7 その他全般的事項

<文学研究科 文芸メディア専攻（修士課程）>

（１）設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として明治大学教育開発・支援センターを設置している。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・年度末に開催し、当該年度の検証及び翌年度の方針を検討する。委員会メンバー全員が参加している。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・FDの実践方法、学生研究活動の質的向上方策等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・授業評価アンケート・新任教員に対する研究会の実施・講演会およびシンポジウムの実施・本学FD活動に関する広報の展開 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケートはOMRを用いてデータ集計する。また、HP上にアンケート結果を分野毎に公開している。・研究会および講演会については、講義形式で実施 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・授業評価アンケートは年2回実施・新任教員に対する研究会の実施は、年度始めに実施・講演会およびシンポジウムは2010年度は、11月に「ICTを活用した学生との双方向授業に関する研修会」を実施 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケートは集計されたデータを該当教員へフィードバックし、今後の授業改善につなげていく。・新任教員に対して、本学の教育理念、教員としての心構えなどについての理解を促すとともに、教育効果をあげるための研究および工夫を積極的に推進し、今後の授業改善につなげてもらうことが目的としている。
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

文芸メディア専攻は、世界の文学や演劇あるいは評論・戯曲などを通じて人間研究を行い、高度な教養を身につけた表現主体としての教養人の育成を目的としながら、現代の新たなメディア状況に対応する文学研究を切り拓き、作家や作品に収斂する既存の文学研究とは異なる未踏の新たな学術的状況の構築をめざす。本専攻が希求する「文芸というメディア」「メディアとしての文芸」という理念、さらにはそれらを踏まえた高度な専門知識・教養に裏付けられた「発信」と「表現」への目配りとし、文芸研究者・実作者・国語教員を育て、文学研究の発展に寄与する。

このような設置の趣旨と目的は、言語テキストとそれが置かれたメディア環境の相互的関連を視野に収める新領域の専門的知識人を育成し、またその知見を踏まえて、教育やマスメディアの現場に立つ専門家の養成を目的とする。そのことを通じて優れた人材を輩出するとともに、併せて「文芸メディア」という新領域の学術的基盤をより確固たるものとし、本学問のさらなる充実・発展・深化を図るものである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成25年3月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価の結果をホームページで公表し、広く学内外から結果に対する意見を聴く体制をとっている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に「大学基準協会」の評価を受けるべく、学内で検討中

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2011年6月公開予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(公表した場合、承諾する)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.meiji.ac.jp/koho/disclosure/secchi/>)